

ケア用品  
トイレ・トイレシート  
消臭・おそうじ

## お手入れのお悩み解決!

# ブラッシング術

ブラッシングは毛の汚れ、ノミやダニなどを取り除くためにとても大切。

正しいお手入れの方法を身に付けて、愛犬と楽しくふれ合う時間にしてあげましょう。



監修・指導  
ペビィ動物看護専門学校トリマー講師  
山田記代子先生

## ブラシの種類とかけ方

毛の長さや毛質、使用する場所によって、ブラシの種類を選んでください。



### 正しい持ち方で、毛並みにそって。

針金のようなピンが抜け毛やもつれ毛を取り除きます。ペンを持つように軽く握るのがコツ。



### スリッカーブラシ

中・長毛種、巻き毛の子向け



タム(コーギー) ビーナ(トイプードル)

### 毛並みを整える仕上げ用。

抜け毛を取った後に、コームでもつれや絡みが無いかを確認しましょう。



### コーム

全犬種対応

### 短い毛を絡め取るのに効果的。

毛並みにそってかけてあげてください。



### ラバーブラシ

短毛種の子向け



こつぶ(バグ)



### 大型犬の場合

リードをつけるか、2人でおこなうとスムーズにできます。

### それでも暴れてしまう場合...

- お散歩後やおもちゃで遊んだ後など、発散させて落ち着いてからブラッシングしてみましょう。
- ブラシを強く当てすぎているのかも。力を弱めてチャレンジしてみてください。

## 愛犬が嫌がってじっとしてくれない...



### 高いところに 乗せてみよう。

高いところに乗せると落ち着いてブラッシングができます。台の上には落下防止のため、必ず滑り止めマットなどを敷きましょう。



### おやつを使って。

おやつを使って、愛犬の気をひきましょう。1人がおやつで引き寄せているすきに、もう1人がブラッシングをしてあげましょう。



## ブラッシングをやってみよう!

ブラッシングで体を触ることで、病気の早期発見、予防に。マッサージ効果もあり健康促進につながります。

### 毛の流れにそって



基本的には毛並みにそってかけてあげてください。背中から始めて、敏感な顔や足先は後からしましょう。

### めくってブラッシング



地肌がみえるまでめくって、根元からブラシをかけます。

### ここがポイント!

- もつれ毛や毛玉がある場合、先に手でほぐしてあげましょう。
- 飼い主さんは愛犬に声をかけるなどして、リラックスした状態でおこなしましょう。

★1週間に1回はしてあげてください。秋と春の換毛期は、よりこまめにおこなしましょう。毛玉ができてからやると痛いので、ブラッシング嫌いの原因に。

## 体のいろいろな部位にチャレンジ!

### 足先



足先は敏感な部分。引っ張ったりせず、そっとかしてあげてください。内股やわきの下は歩くとこすれてもつれやすい部分なので、毛玉がないか確かめてからブラッシングしましょう。

足を横に引っ張るのは×



犬の足は前後にしか動きません。無理に抑えついたりするのも嫌がる原因に。

### しっぽ



しっぽは強く握らないようにして、根元をめくってからブラッシング。

### 顔まわり



顔まわりはコームでとがします。敏感な部分なので、引っかかったら無理にとがさず、手でもつれをほぐしてからにしましょう。

### おなか



おなかは毛が薄いので、優しくかけてあげて。小型犬なら前足を持ちながらでも。

きれいになりました!

すきり!



### 山田先生から

ブラッシングは愛犬とコミュニケーションをとる良い機会です。毛玉ができる前に、習慣づけてこまめにするのを心がけてあげてください。特に巻き毛や長毛の子はもつれやすいので注意してあげてくださいね。